

高線量モニタリングポスト 1 台の測定値の欠測について

< 概要 >

(事象の発生状況)

- ・発電所敷地周辺の環境放射能測定装置のうち、高線量モニタリングポスト 1 台が停止し、約 4 時間の間、測定ができませんでした。

(調査結果・推定原因)

- ・モニタリングポスト内の電源回路のヒューズが切れていました。
- ・電源回路の基板には特に異常は認められませんでした。
- ・ヒューズが切れた原因は、ヒューズの劣化によるものと推定しました。

(対策)

- ・切れたヒューズを交換し、モニタリングポストの健全性を確認しました。

(安全性、外部への影響)

- ・他のモニタの測定値を確認した結果、外部への放射能の影響はないものと判断しております。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 21 年 6 月 12 日午前 5 時 36 分頃、1・2 号機中央制御室において、発電所敷地周辺にある 8 台の高線量モニタリングポスト*¹のうち、1 台（No. 3 モニタリングポスト）の測定値の欠測を示す警報が発生しました。

2. 調査結果・推定原因

当該モニタリングポストを確認したところ、電源回路のヒューズが切れており、電源が落ちていることがわかりました。

また、電源回路の基板についても点検を行いました。特に異常は認められませんでした。

このため、当該ヒューズが切れた原因は、ヒューズの劣化によるものと推定しております。

3. 対策

当該ヒューズを取り替えるとともに、午前 9 時 45 分、当該モニタリングポストが復旧したことを確認しました。

4. 安全性、外部への影響

当該モニタリングポストの測定値が欠測している間、当該モニタリングポストを除く7台の高線量モニタリングポストならびに、8台すべての低線量モニタリングポストの測定値は通常の変動の範囲内であり、各排気筒モニタ*²の測定値にも異常はありませんでした。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

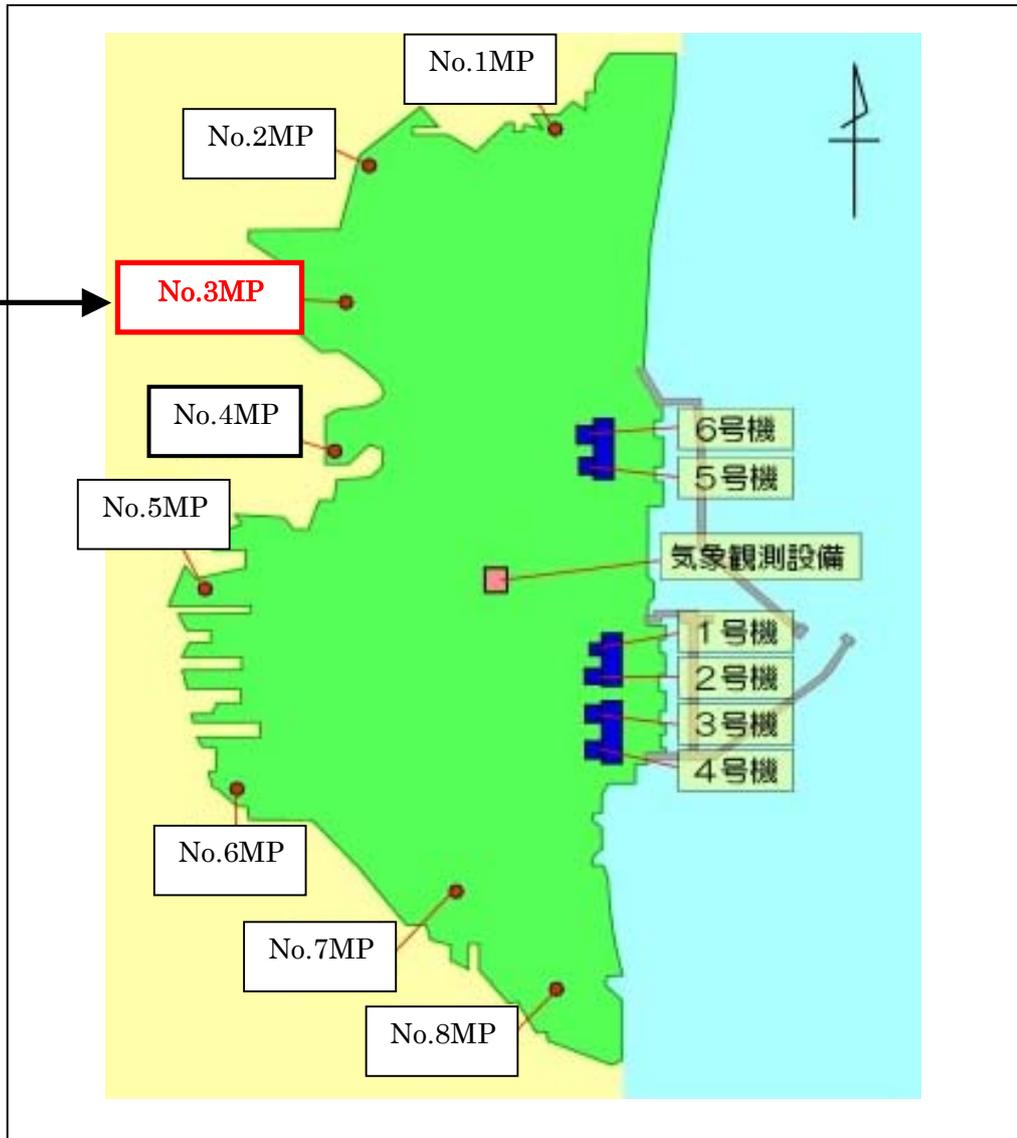
* 1 モニタリングポスト

発電所敷地周辺の8箇所に、それぞれの箇所ごとに低線量用と高線量用の2種類が2台一式で設置され、空間線量率を測定している。

* 2 排気筒モニタ

復水器を真空にしておくための排ガスや建屋内の空気を環境へ放出する際に、放射線を測定する装置。

今回指示値が欠測
したモニタリング
ポスト



MP : モニタリングポスト

モニタリングポスト配置図